

日本共産党 県央議員団ニュース

連絡先 厚木市元町6-18 平塚市・厚木市・秦野市・伊勢原市・愛川町・大磯町・二宮町・清川村
日本共産党県央地区委員会 電話：046-224-4341 FAX:046-223-1860 発行日 2021年6月3日

新型コロナウイルスは4月になっても感染者が増え続け、厚木市、伊勢原市はまん延防止重点措置地域に指定され、さらに平塚市、秦野市、小田原市も追加となり6月20日まで延長となりました。

日本共産党は、コロナ収束のためワクチン接種と合わせ、高齢者施設や障がい者施設、医療機関、学校や保育園など集団感染のリスクの高い施設でのPCR検査の実施を訴え続けてきました。

国も今年になり、県への通知を出し、神奈川県も検査を行うようになりました。

今回のニュースでは、PCR検査とワクチン接種についての調査結果をお知らせします。

神奈川県が実施

高齢者施設・障がい者施設従事者へのPCR検査

自治体名	実施施設数	延べ実施施設数	延べ実施人数	陽性者数
平塚市	64	151	5,700	0
厚木市	73	151	5,349	2
秦野市	44	92	4,336	0
伊勢原市	17	42	1,322	0
愛川町	9	21	726	0
大磯町	8	19	787	0
二宮町	11	26	571	0
清川村	0	0	0	0
合計	226	502	18,791	2

2021年2月12日～3月31日 (神奈川県提出資料より)

実施は対象施設の53%

神奈川県は2月12日から3月31日まで、特別養護老人ホームや老健施設、老人ホームなどの高齢者施設及び障害者施設の従事者を対象にPCR検査を行いました。対象は3,640施設、108,000人で1,922施設が実施。陽性者は27人でした。

施設からは、「検査を継続して欲しい」が89%!

実施した施設の89%が「継続してほしい」と答え、「職員の安心につながった」「デイサービス、訪問介護にも対象を広げてほしい」「感染対策の意識が強化された」「無料で受けられてよかった」などの声がある一方、「陽性者が出た時の対応の仕方がわからなかった」「検査方法を変更してほしい」「施設での準備、回収に人がとられる」などの改善要望が出されています。

第2弾で対象施設を拡大、継続検査が可能になったが...

5月からの第2回目の検査では、入所施設だけではなく、通所・訪問介護などにも対象を広げ、3,640施設から17,100施設に拡大されました。

対象が拡大されたことは、介護等の従事者や利用者への感染拡大を防ぎ、安心して仕事ができるようにするための大きな前進ですが、施設からは、「前回の検査と同様にキットの配布や回収は事業者がやって欲しい。自分たちで行うのは負担が大きい」など改善要望が出されています。

日本共産党県央議員団は、 県議団と協力し神奈川県に対し、 次のことを求めています

県は検査の対象施設を増やしましたが、施設が検査キットを取りに行き検体を届けるように変わったため、施設の負担が大きくなってしまいました。5月27日現在、対象施設17,100のうち、申込は1,000程度ということです。

日本共産党県央議員団は、次の3点について県議団と協力して取り組みます。

- ①検査キットの受け取りや届けなど、施設の負担をなくすこと。
- ②障がい者施設を対象に戻し、医療機関や学校・保育園など対象を拡充すること。
- ③陽性者が出た場合の『職員補充制度』を改善すること。

ワクチン接種関連

ワクチン接種が始まりました。日本共産党議員団は、「電話がつながらない」「予約がずっと先になってしまった」「家から遠いところの予約で行くのが大変」などの声を受け、希望する人が安心して接種ができる体制ができているのか、各自治体の取り組み状況を調べました。

県央8自治体比較

自治体名	ワクチン供給量 (5月末の週まで)	供給量に対する 接種可能人数 ※	予約年齢の 区切り方	予約開始日	集団接種 開始日
平塚市	5 5 箱	27,500人	75歳以上・65歳以上	4月26日	5月15日
厚木市	5 6 箱	28,000人	85歳以上・75歳以上 65歳以上	5月10日	5月17日
秦野市	5 3 箱	26,500人	65歳以上全員	5月6日	5月23日
伊勢原市	5 4 箱	27,000人	65歳以上全員	5月10日	5月15日
愛川町	1 1 箱	5,500人	80歳以上・75歳以上 70歳以上・65歳以上	5月6日	5月16日
大磯町	1 2 箱	6,000人	75歳以上・65歳以上	5月1日	5月23日
二宮町	1 1 箱	5,500人	85歳以上・75歳以上 65歳以上	5月6日	5月23日
清川村	3 箱	1,500人	75歳以上・65歳以上	4月19日	5月3日

ワクチン接種は強制ではありません。納得の上受けるものなので、不明な点はかかりつけ医や行政に相談を！

自治体名	高齢者人口 (65歳以上)	集団接種 予約人数	接種済人数 (集団・1回め)	電話代	キャンセルが出た場合の対応
平塚市	76,000人	28,000人 5月31日現在	4,780人 5月31日現在	有料	医療従事者で受けていない人に接種
厚木市	57,000人	41,486人 5月28日現在	9,500人 5月28日現在	有料	民生委員・自治会長・公民館長の接種希望者、保健師ケースワーカーなどの職員をリスト化
秦野市	48,000人	16,000人 5月31日現在	1,600人 5月31日現在	有料	エッセンシャルワーカーを優先対象者として、体制を整備
伊勢原市	27,000人	10,000人 5月31日現在	7,500人 (集・個) 5月31日現在	無料	感染リスクの高い団体職員などで連絡して30分以内に来れる方を調整
愛川町	12,400人	3,534人 5月31日現在	1,932人 5月30日現在	有料	民生委員の中の65歳以上の方に接種
大磯町	11,500人	3,960人 5月31日現在	1,270人 5月31日現在	無料	高齢者等施設従事者に接種
二宮町	10,000人	600人 5月31日現在	400人 5月31日現在	有料	65歳以上の方から別途ハガキで受け付け、年齢順に電話で案内
清川村	1,100人	896人 5月14日現在	310人 5月14日現在	有料	キャンセル待ちの事前登録を行い、連絡し都合が合う方に接種

ワクチン供給量は県のホームページより、その他は自治体への聞き取り

※1箱1,000回分(500人分)として試算

※各自治体の担当職員は、医療機関との連携・協力のもと安心して安全なワクチン接種に取り組んでいます。各自治体の取り組み方に違いがあることから、今回表にした各自治体のワクチン接種状況は、共通項目について掲載しました。

接種を担当する自治体は大変！

国は7月末までの接種完了を自治体に要請していますが、医療機関は通常診察をするなかでの接種のため、医師や看護師の確保が大変です。全国では予約どおりに接種が進ま

ない自治体も出ています。国が医師や看護師などを削減してきた結果が矛盾として噴出しています。国は自治体に対して、接種体制強化の手当てを尽くすべきです。

住民の声に寄り添った自治体の取り組み

予約したいのにスマホがないし電話も難しい

綾瀬市：予約代行を実施。予防接種会場で氏名、住所、生年月日、電話番号、希望会場、希望日時を伝えるだけで予約完了。後日、市役所から接種日時と会場の案内が郵送される。

集団接種会場は遠くて行くのが大変！

厚木市：往復が困難な方にタクシー利用を助成
秦野市：4つの駅から会場までシャトルバスの運行
綾瀬市：自治会単位で無料送迎バスの運行
松田町：移動手段がない人を対象にタクシー券の配布